

研究機関名：旭川医科大学

作成年月日：2024年12月05日(第1版)

承認番号	24136
課題名	日本赤十字社より提供される献血血液を用いた生体吸収性素材細径人工血管の抗血栓性評価
研究期間	西暦 2024年12月12日(実施許可日) ～ 2029年12月31日
研究の対象	2025年1月1日より2029年12月31日までに日本赤十字社で献血された方(廃棄予定の献血血液を使用します)
利用する試料・情報の種類	<input type="checkbox"/> 診療情報(詳細：) <input type="checkbox"/> 手術、検査等で採取した組織(対象臓器等名：) <input checked="" type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 利用予定日(開始日 2025年2月1日)
試料・情報の管理について責任を有する者	旭川医科大学 学長 西川 祐司
研究の意義、目的	冠動脈バイパス術や下肢血行再建術に使用可能な直径4mm以下の細径人工血管の開発は心臓血管外科学分野における長年の課題である。我々は、生体内に移植することで生体吸収性素材の内部へ自己組織が生着し長期開存が得られる代用血管を開発するため、生体吸収性ナノファイバー(NF)に着目した。現在までに、ラットやウサギなど小動物での開存性は確認できているが、大動物では超短期に血栓閉塞を来すという問題がある。現在、ヘパリンとアスピリンをエステル化により結合させた化合物を代用人工血管に共有結合によりコーティングする技法の開発を行っており、本研究ではその人工血管の生体外での抗血栓性効果を確認する。
研究の方法	日本赤十字社より提供を受ける献血血液を人工血管を組み込んだ閉鎖回路内で1-24時間循環させ、血栓形成および血小板吸着をHE染色及び電子顕微鏡で評価する。
その他	日本赤十字社より廃棄血液の譲渡を受けますが、本研究の実施に際し、開示すべき利益相反事項はありません。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので申出下さい。 連絡先： 旭川医科大学外科学講座心臓大血管外科学分野 教授 紙谷寛之 旭川市緑が丘東2条1丁目 0166-68-2490